

2019 S3 リテラー組立マニュアル

cervélo

velo

目次

重要な情報.....	1	ST029 ステムカット計算機.....	17
ツールと備品のリスト ..	2	フォークシステムの取り付け - 電動 ..	18
2019 S3 パーツリスト ..	3	フォークシステムの取り付け - 機械的 ..	19
フレームの特徴 ..	4	ヘッドセットの調整 ..	20
ハンドルバーとシステムのコンポーネント ..	5	ステムの締め付け ..	21
フォークとヘッドセットのコンポーネント ..	6	ハンドルバーケーブル配線 - 電動 ..	22
小さな部品 ..	7	ハンドルバーケーブルルーティング - 機械式 ..	23
フレームの手帳 ..	8	D12 バッテリーの取り付け ..	24
S3 アセンブリの概要 ..	9	電気ケーブルの設置 ..	25
リアブレーキの取り付け ..	11	機械ケーブルの取り付け ..	26
電気および機械ケーブルの概要 ..	12	シートポストアセンブリ ..	27
電気ケーブルの配線 ..	13	シートポストの切断手順 ..	28
機械的なケーブル配線 ..	14	フレーム保護の取り付け ..	29
ST029 ステムスタック ..	15	タイヤクリアランス ..	30
ST029 ステムカット手順書 ..	16		

重要な情報

このマニュアルは、Cervélo 販売店が 2019 S3 自転車をセットアップおよびカスタマイズする際に役立つように設計されています。このマニュアルは消費者向けではなく、適切な組み立てを確実に行うために指定されたツールを使用する必要があります。

指定された部品を使用し、付属の組み立て説明書に従わない場合、走行中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。このマニュアルは、この自転車の組み立てに必要な手順と、このマニュアルに記載されている変更を行うための手順の概要です。このマニュアルは、販売店がすべてのプロの自転車整備士に求められる最低限の知識とスキルレベルを有していることを前提としています。詳細は<https://www.probma.org/>をご覧ください。

ツールと備品のリスト

このマニュアルでは、S3のオプション調整を行うための手順をいくつか説明しています。これらの調整は、Cervéloが最初に販売した方法とは異なります。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。これらの部品はCervélo正規販売店でのみご購入いただけます。Cervéloは、すべての組み立ておよび調整手順をCervélo正規販売店で行うことを強くお勧めします。

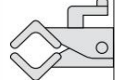




別途購入可能なすべての部品は、このマニュアルに Cervélo 部品番号とともにすべて大文字で記載されており、完全なリストは 3 ページに記載されています。







注:シマノやSRAMなどの非独自コンポーネントはすべて

お近くの販売店から入手可能です。

注意:このマニュアルは、Cervélo 一般ユーザーマニュアルを補完するために作成されたもので、コンポーネント製造元が提供する組み立ておよび取り付け手順（この自転車に付属）を補足することを目的としています。

注意：Cervéloは、すべての組み立ておよび調整手順をCervélo正規販売店にご依頼いただくことを強く推奨いたします。Cervélo S3のお客様/購入者で、このマニュアルをお読みになっている場合は、このマニュアルに記載されている手順を実行する前に、Cervélo正規販売店にご相談いただくか、www.cervelo.com/supportをご覧ください。

ツール	
	自転車用ワークスタンド（シートポストで自転車を固定するタイプ、またはフォークマウント付きのプロ用スタンド）
	2.5Nm〜15Nmの範囲のトルクレンチとアダプタ:
	六角ヘッドインサート: 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm、6mm、8mm、10mm
	ケーブルカッター
	ペンチ

ツール	
	プラスドライバー
	マイナスドライバー
	ペダルレンチ
	4番目のハンドブレーキケーブルツール
	D12ワイヤーツール - シマノ
	良質の自転車用グリス

2019 S3 パーツリスト

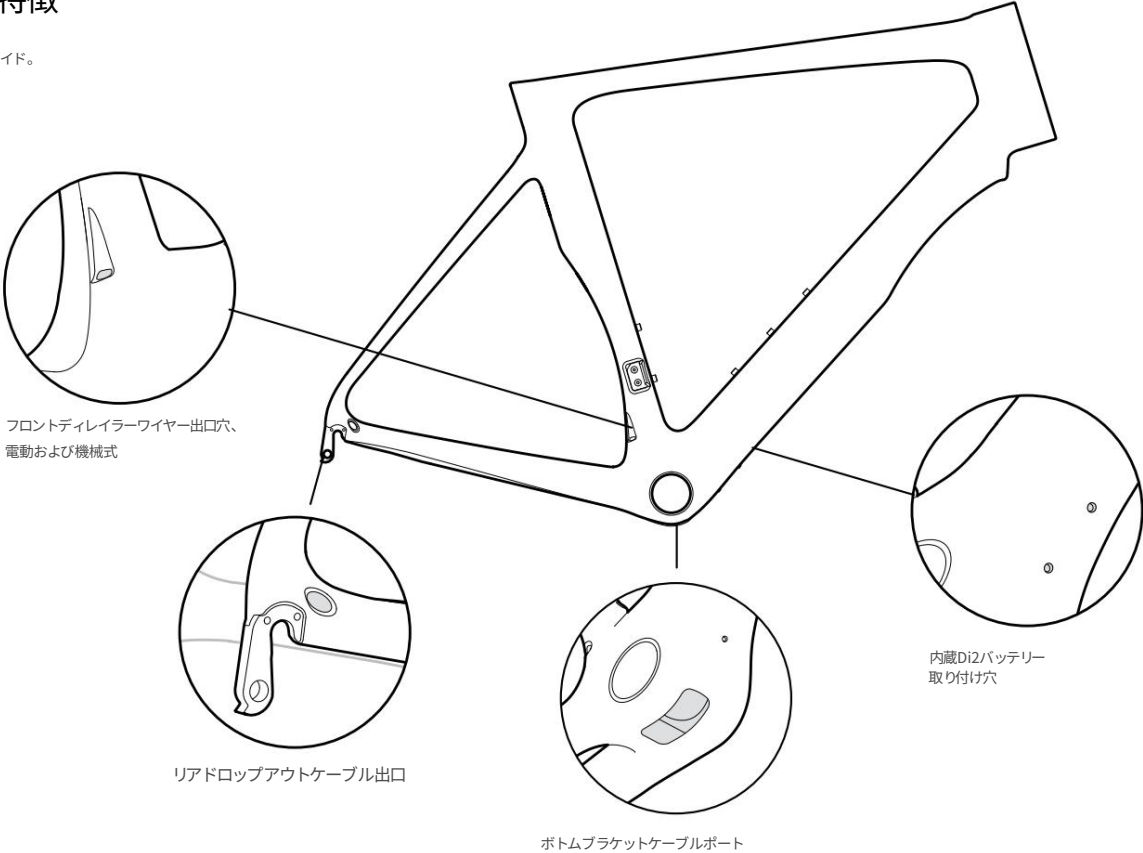
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
フォーククランプウェッジキット FK-0E0S3	
フロントディレイラー ボルトで取り付け	FDM-0E0
リアブレーキブースター	BRPブースター
ST029 ステム 80mm w/ トップキャップ	ST-A029-80
ST029 ステム 90mm w/ トップキャップ	ST-A029-90
ST029 ステム 100mm トップ キャップ付き	ST-A029-100
ST029 ステム 110mm トップ キャップ付き	ST-A029-110
ST029 ステム 120mm トップ キャップ付き	ST-A029-120

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ST029 ステム 130mm トップ キャップ付き	ST-A029-130
ST029 ステムトップ キャップ	STC-A029
AB09 カーボン ハンドルバー 380mm	HB-AB09-38
AB09 カーボン ハンドルバー 400mm	HB-AB09-40
AB09 カーボン ハンドルバー 420mm	HB-AB09-42
AB09 カーボン ハンドルバー 440mm	HB-AB09-44
ST029 ステムスパーサー キャップ40mm	SS-A029-キット
ST029 ヘッドセット ベアリングキャップ	BC-A029

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ST029 ヘッドセット 1-1/4 - 1-3/8	HS-A029
SP20カーボン シートポスト 0mm ヘッド付きオフセット	SP-SP20-ゼロ
SP20カーボン シートポスト 25mm ヘッド付きオフセット	SP-SP20-25MM
シートポストクランプ アセンブリS2/S3	SPC-0E0S2S3
BBケーブルガイド/カバー BBG-0E0	
内蔵バッテリーマウント 組み立て	MT-BINT

フレームの特徴

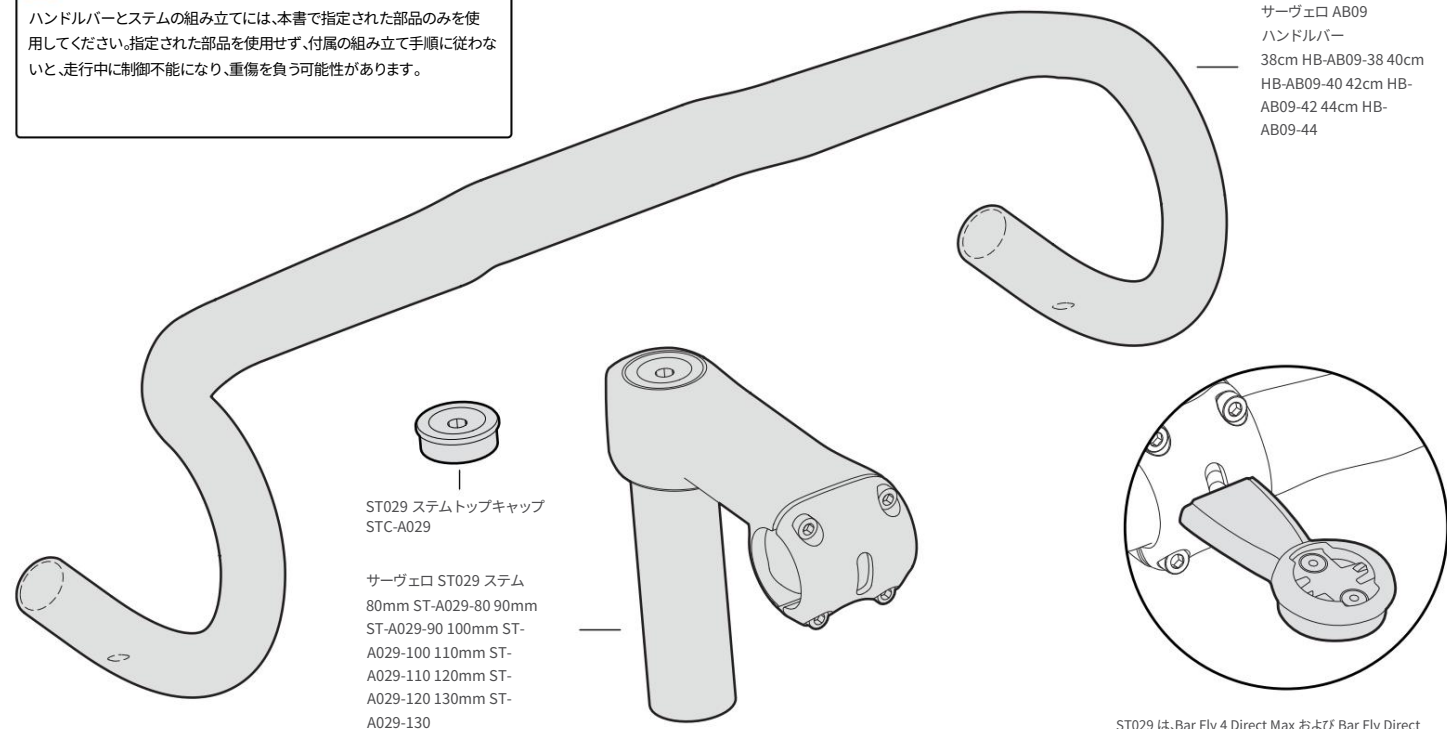
Cervélo S3 フレームのガイド。



ハンドルバー&ステムコンポーネント

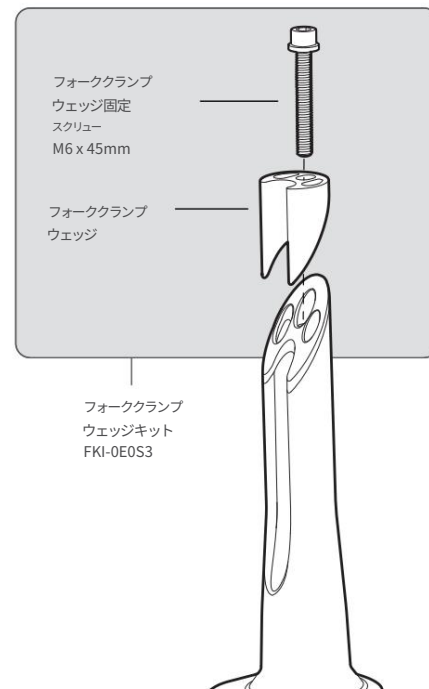
⚠ WARNING

ハンドルバーとステムの組み立てには、本書で指定された部品のみを使用してください。指定された部品を使用せず、付属の組み立て手順に従わないと、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。



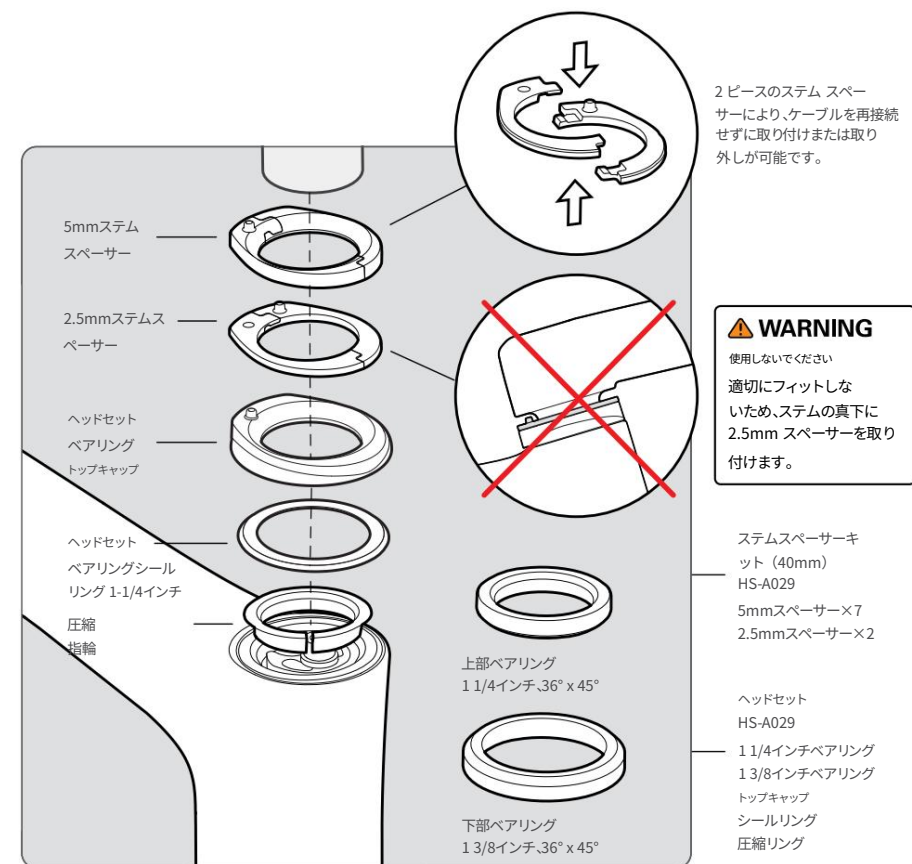
ST029 は、Bar Fly 4 Direct Max および Bar Fly Direct Mini Garmin ステムマウントに対応しています。

フォーク&ヘッドセットコンポーネント



⚠ WARNING

Cervéloのフレームとフォークは互いに連動するように設計されています。別のフォークを取り付けようとしてください。



2 ピースのステム スパースにより、ケーブルを再接続せずに取り付けまたは取り外しが可能です。

⚠ WARNING

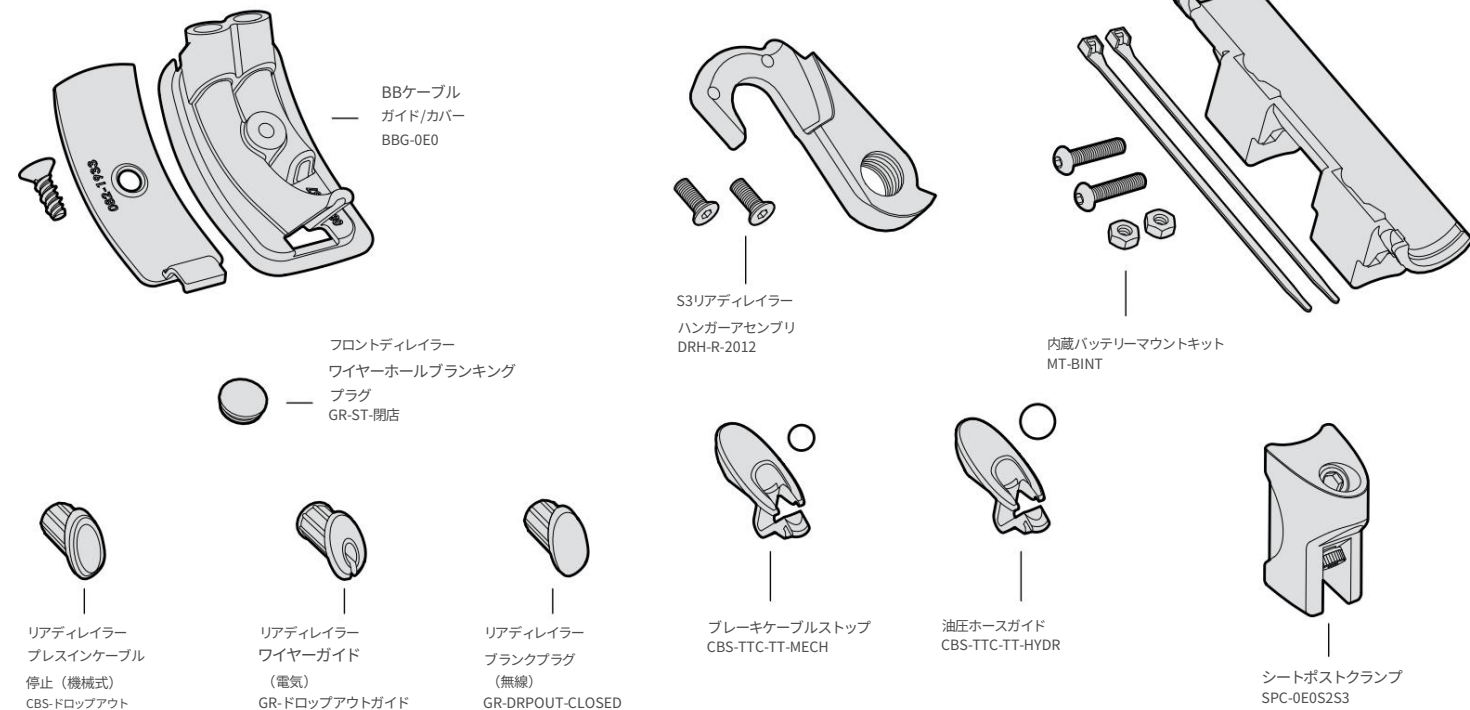
使用しないでください
適切にフィットしないため、ステムの真下に 2.5mm スパースを取り付けます。

ステムスパースキット (40mm)
HS-A029
5mmスパース×7
2.5mmスパース×2

ヘッドセット
HS-A029
1 1/4インチベアリング
1 3/8インチベアリング
トップキャップ
シールリング
圧縮リング

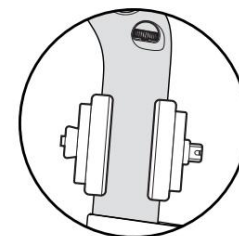
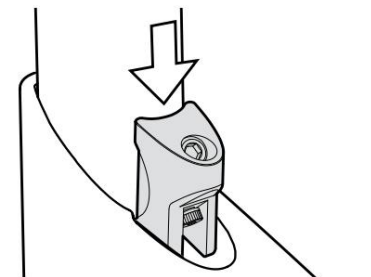
小さな部品

S3 フレームは、電子制御、機械制御、油圧制御に対応するように設計されており、方法やブランドに関係なく、すべてのシフト システムをシームレスに統合できるように設計されています。
そのためには、以下に示す部品が必要になります。

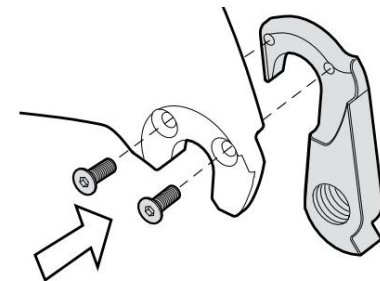


フレームの準備

1. フレームとシートポストの両方にカーボンペストを塗ります。
2. シートポストクランプ (SPC-0E0S2S3)を完全に挿入します。
フレームにトップチューブと完全に面一になるように取り付けます。
3. 高さとトルクを最大 8Nm に調整します。



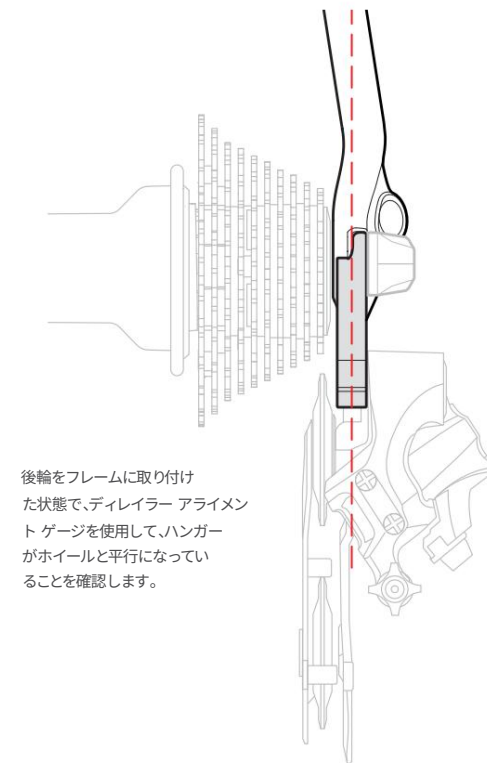
⚠ WARNING
固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。



固定ネジにLoctite 242を塗布し、最大1Nmまで均等にネジを締めます。



⚠ WARNING
トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。

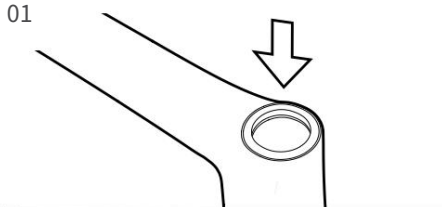


後輪をフレームに取り付けた状態で、ディレイラー アライメントゲージを使用して、ハンガーがホイールと平行になっていることを確認します。

S3 アセンブリの概要*

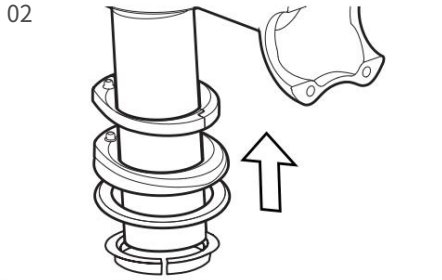
注:より詳細な組み立て手順については、次のページを参照してください。

01



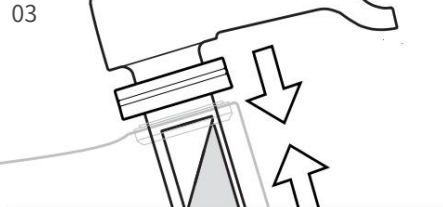
軽くグリースを塗った上部ヘッドセットベアリングをフレームに取り付けます。

02



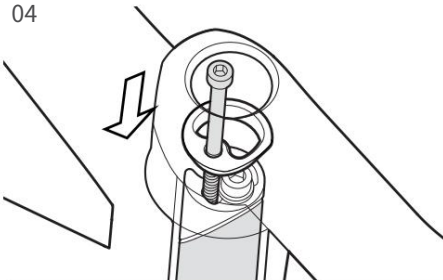
後で取り付けるために、必要なステム スペーサー、ヘッドセット トップ キャップ、シール リング、および圧縮リングをステム ステアラーに配置します。

03



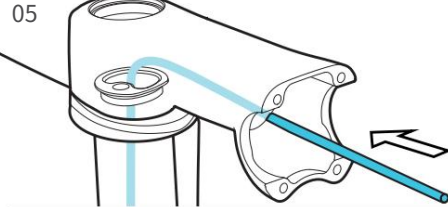
フォークステアラーの外側とステムステアラーの内側（接触する部分）にカーボンアセンブリコンパウンドを塗布します。軽くグリースを塗布した下部ベアリングを取り付け、フォークをフレームとステムステアラーに取り付けます。

04



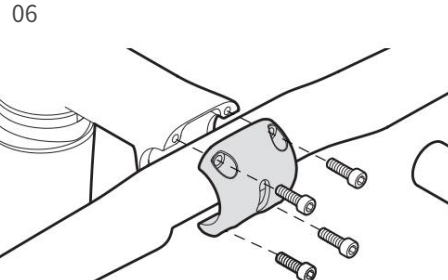
軽くグリースを塗ったM5 x 100mmを取り付けます。プリロードスクリューを締め遊びをなくします。ベアリング。

05



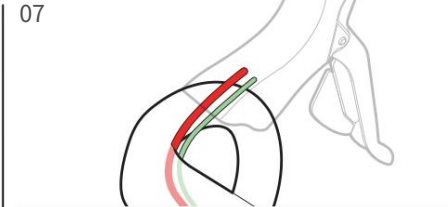
茎の口から始めて、十分にスライドさせます。シフターハウジングをステムステアラーシステムに通し、シフターからBBケーブルポートまで届くようにします。2つ目のシフターハウジングについてもこれを繰り返し、どのハウジングが前側でどのハウジングが後側かを確認します。

06



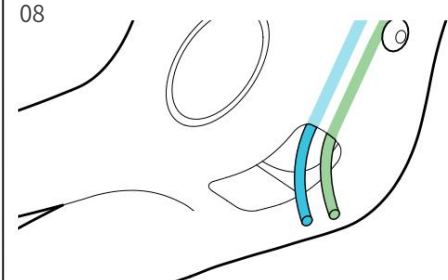
バーにシフターを取り付けたら、シフターハウジングがバーにしっかりと固定されていることを確認しながら、バーをステムに取り付けます。フェースプレートは適切な側にあります。バーとステムのフェースプレートの接触部分にカーボンアセンブリコンパウンドを塗布します。

07



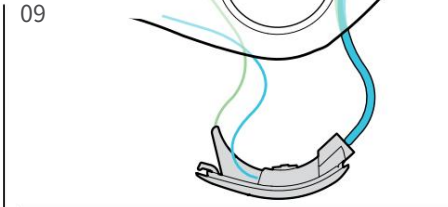
シフターとブレーキハウジングの端をシフターの位置で確認します。ホースとハウジングがシステム内を通過できるように、軽く引いたり押ししたりしてください。

08



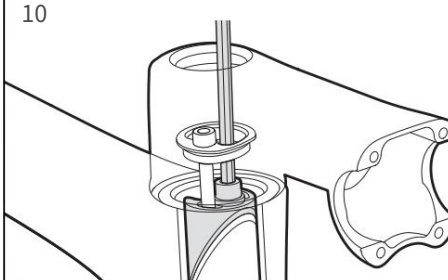
BB ケーブル ポートの先端にあるシフター ハウジングをトリミングし、製造元の指示に従ってケーブルを取り付けます。

09



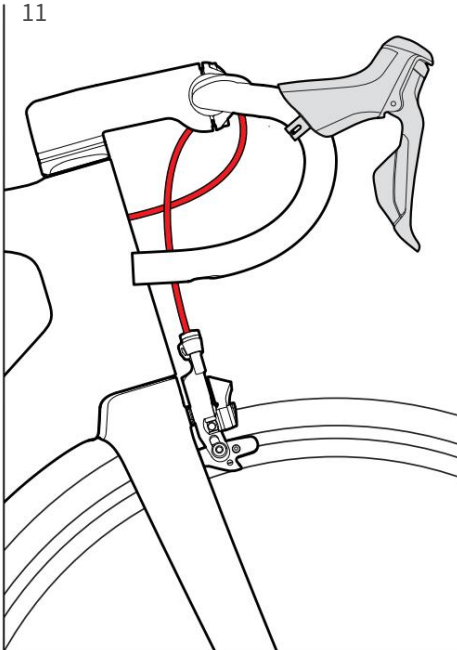
フェール付きのハウジングを BB ケーブル ガイドに取り付け、それに応じてシフター ケーブルをフレームに通します。

10



ステムをまっすぐにして、フォーククランプウェッジを締め固定します。

11

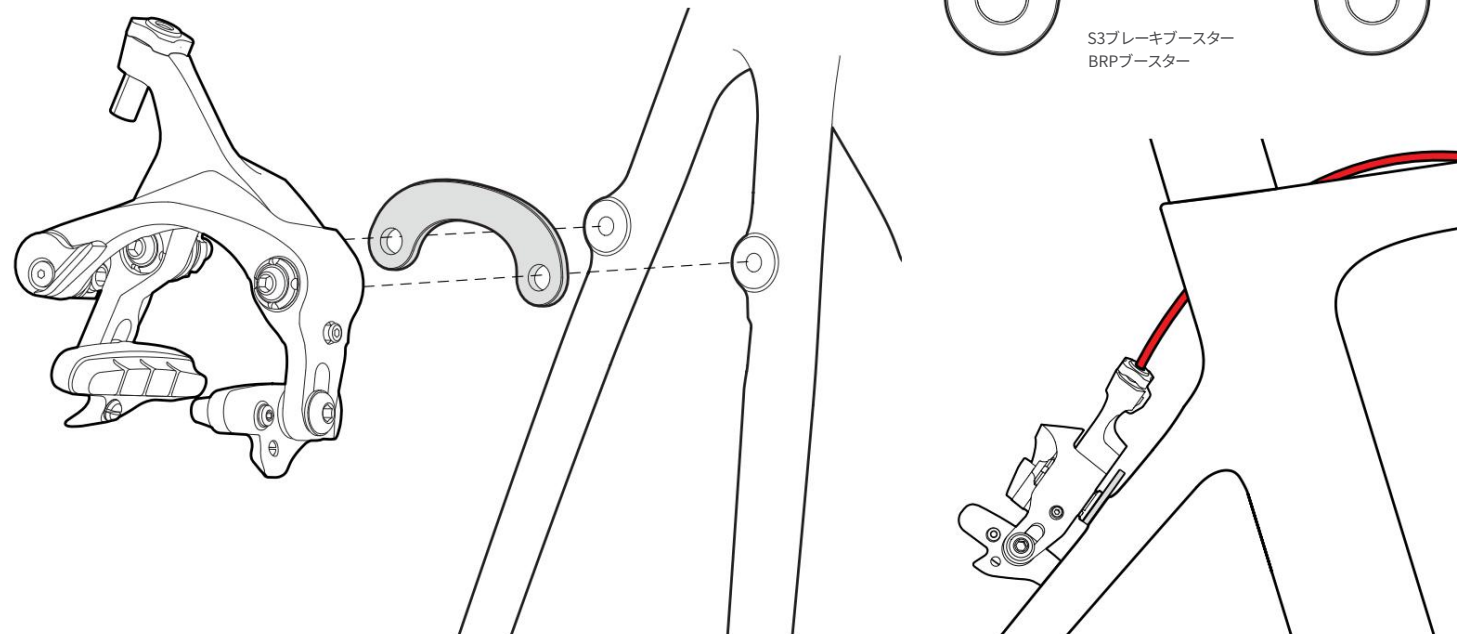


残りのコントロールを接続して組み立てを完了します。

*機械配線図

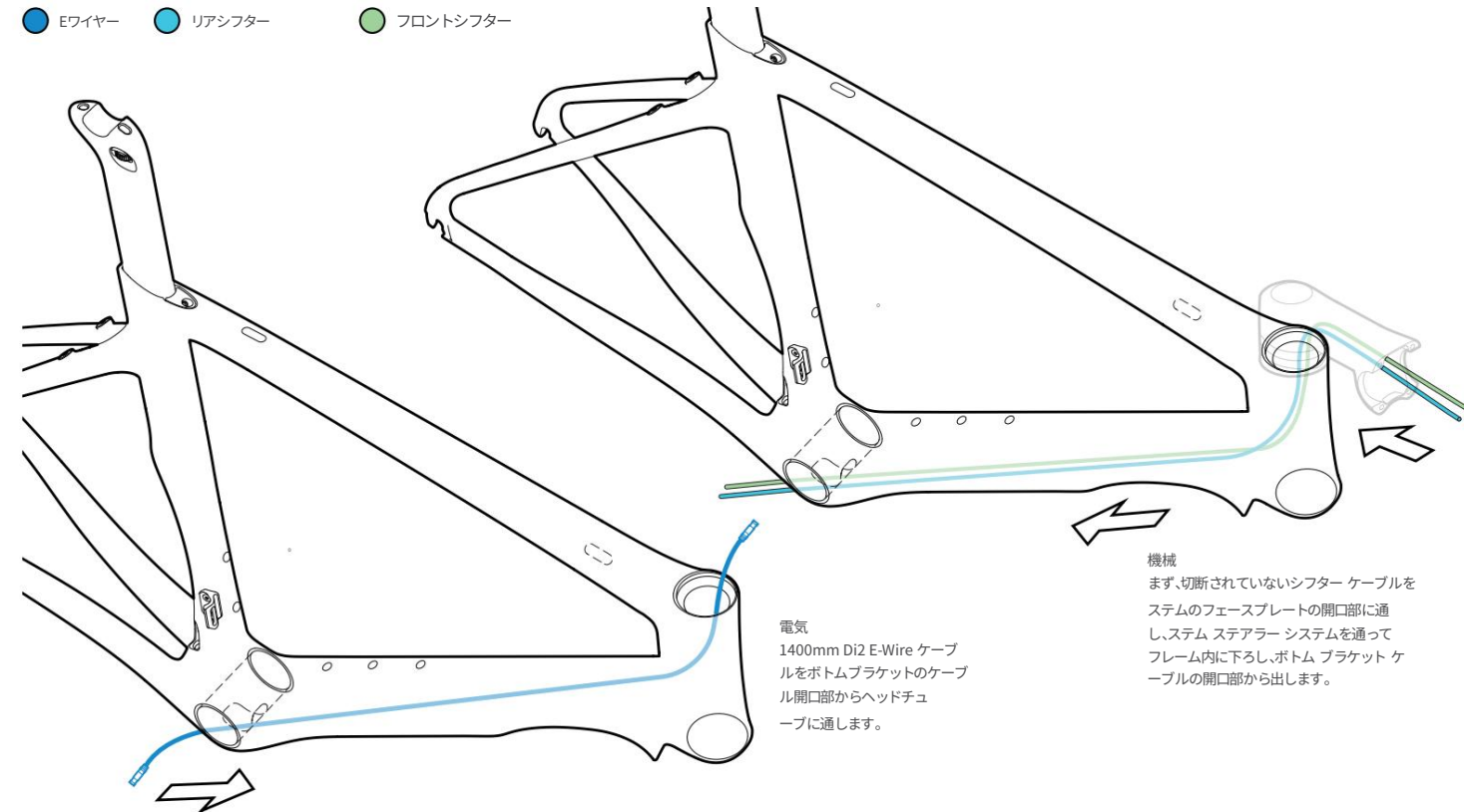
リアブレーキの取り付け

2019年モデルのS3は、ダイレクトマウントリムブレーキキャリパーを採用しています。Cervéloはリアキャリパーにブレーキブースターを追加し、ブレーキ性能を向上させました。最適なブレーキ性能を確保するには、このブレーキブースター（BRP-BOOSTER）の装着が必須です。フロントブレーキには必要ありません。詳細な取り付け情報については、各コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



電気・機械ケーブルの概要

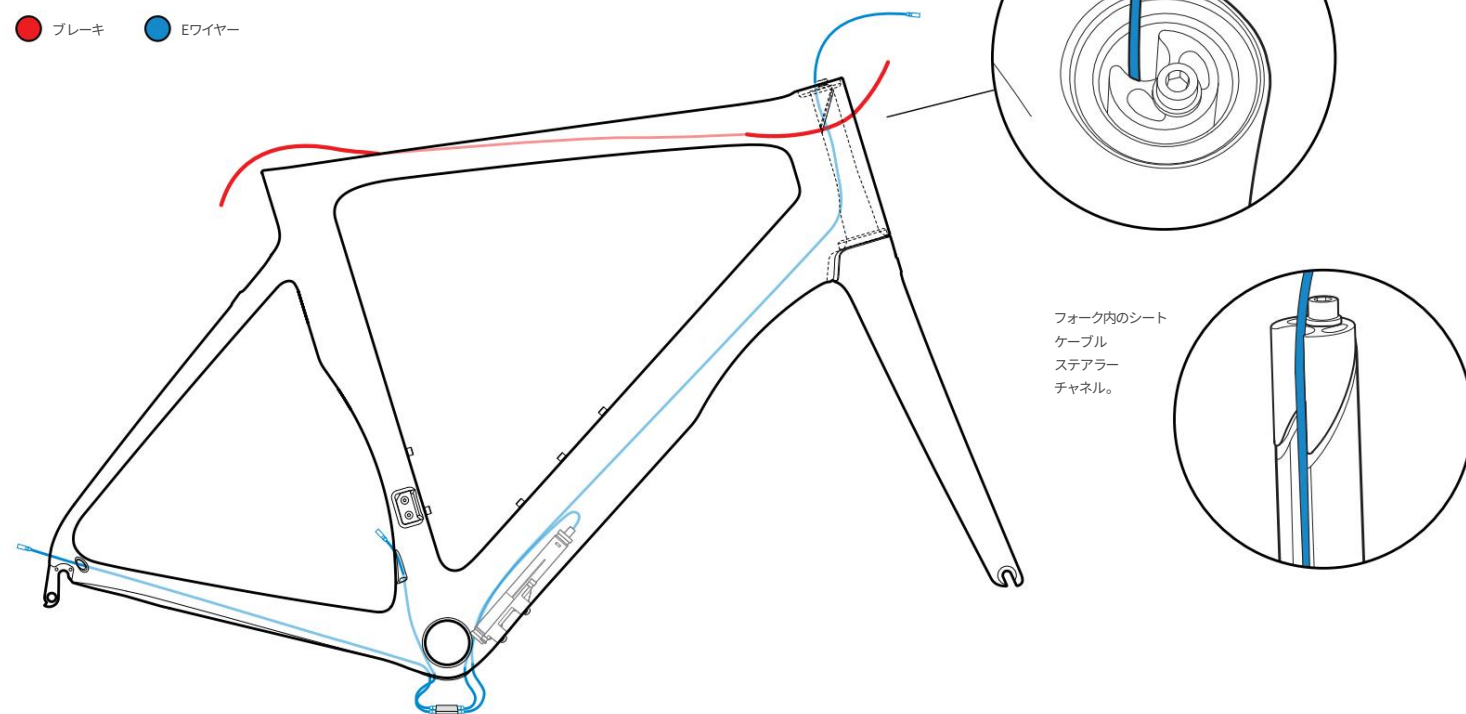
● Eワイヤー ● リアシフター ● フロントシフター



電気ケーブル配線

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的のみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

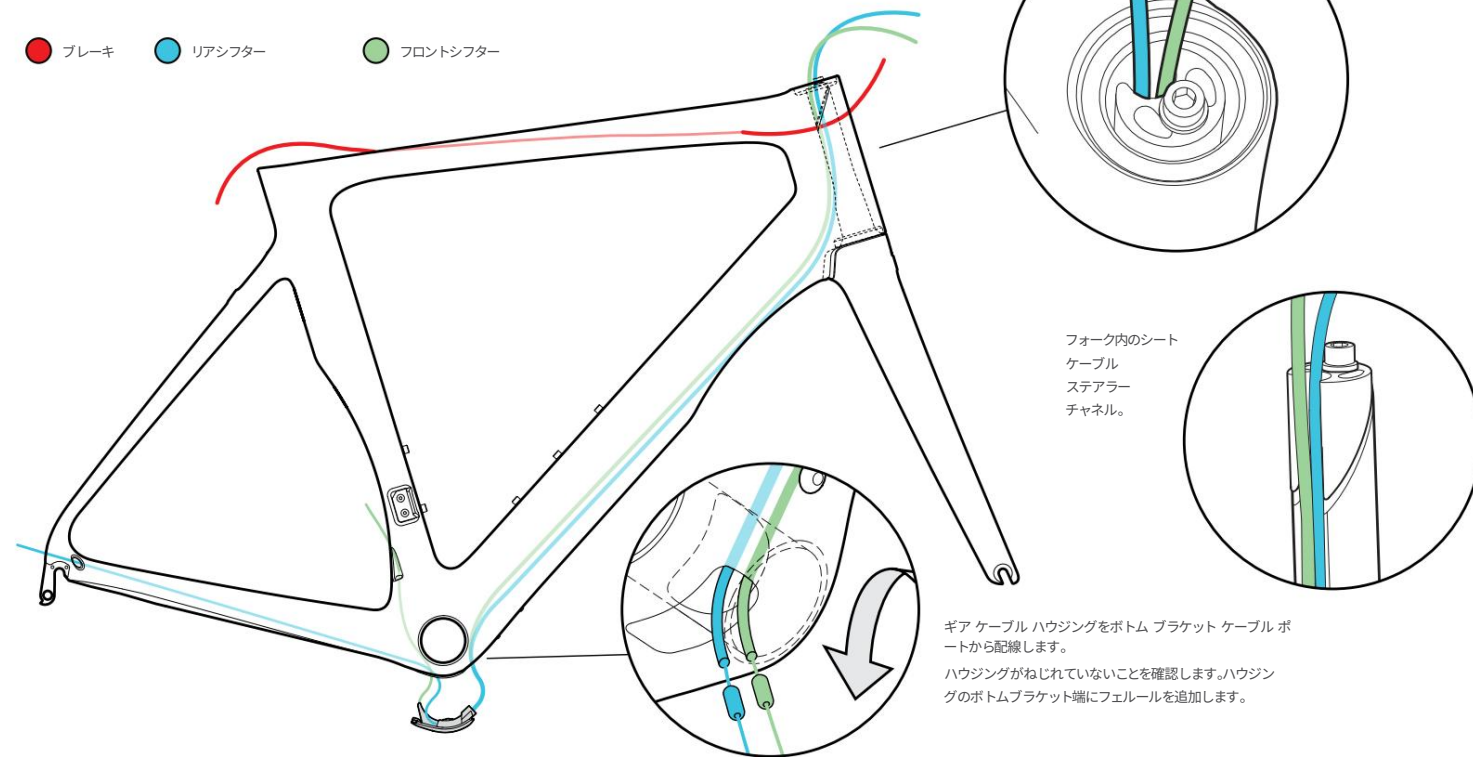
● ブレーキ ● Eワイヤー



機械ケーブル配線

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的のみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

● ブレーキ ● リアシフター ● フロントシフター



ST029 ステムスタック

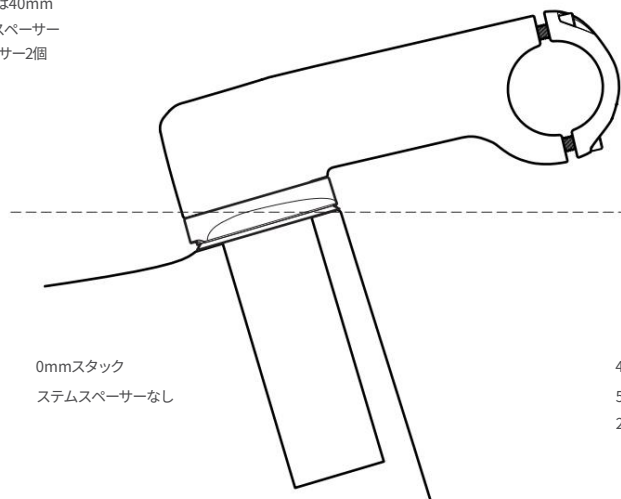


WARNING
ヘッドセットの調整に支障をきたすため、2.5mm スパースをステムの真下に置かないでください。

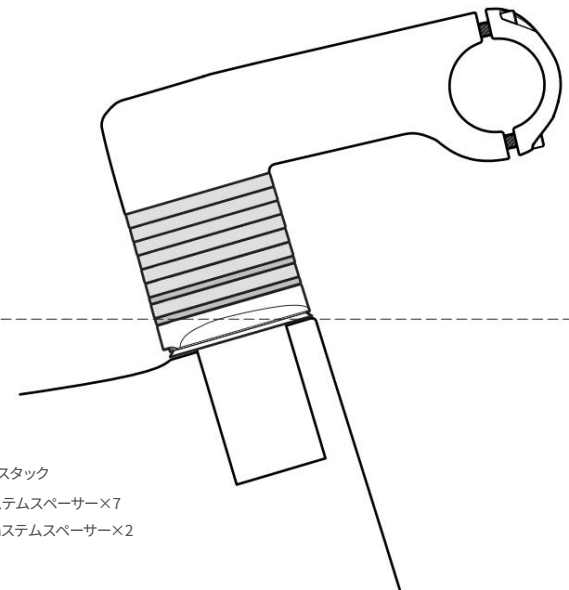


WARNING
ヘッドセットの調整に支障をきたすため、2.5mm スパースを直接積み重ねないでください。

注：ステムスタックの最大調整幅は40mmです。この調整には、5mmステムスパース7個すべてと2.5mmステムスパース2個が必要です。



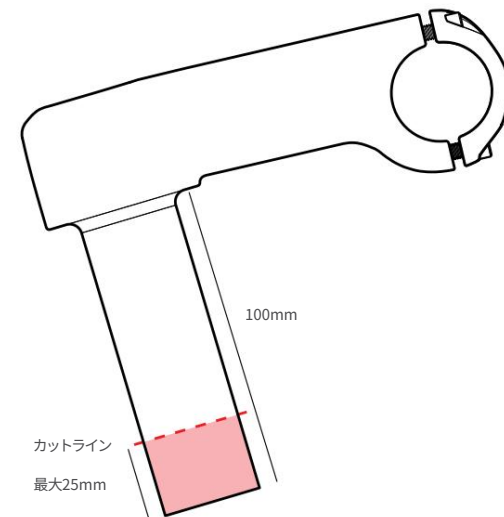
0mmスタック
ステムスパースなし



40mmスタック
5mmステムスパース×7
2.5mmステムスパース×2

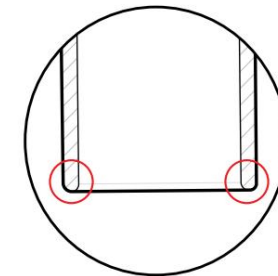
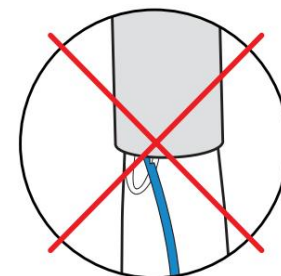
ST029 ステムカット手順

48cmおよび51cmのS3フレームでは、ステムを最も低いスタックポジションに配置するためにステムステアラーを切断する必要があります。54cmから61cmのフレームではステムを切断する必要はありません。



WARNING
ステムステアラーをカットして低い位置によっては、適切なクランプを確保するために、ステムステアラーの最小挿入ラインを同じ量だけ上に移動する必要があります。

1. 薄い色のグリースペンシルを使って、切り取る場所を正確にマークします。ステムステアラーのボトムエッジから5mm〜25mm離してください。フレームサイズと希望するスパーススタックの組み合わせに基づく正確な数値については、19ページの表をご覧ください。
2. ST029 を Park Tool SG-6 ソーガイド (または同等品) に挿入し、ツールのブレードガイドを通してカットオフラインがはっきりと見えるようにします。
3. 金属切断用に設計されたブレードを使用して、ステムステアラーの切断に進みます (Park Tool の指示に従ってください)。
4. 切り口を丁寧にヤスリで削り、バリを取り除き、切り口の内側と外側の両方に半径を付けます。



WARNING
ステムステアラーは底付きしてはならない。フォークステアラーのテーパー部分に接触してください。ステムステアラーによってフォークやブレーキホースが損傷すると、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。

WARNING
切断面の内側と外側が滑らかで、フォークを傷つけるバリがないことを確認します。ステムステアラーによってフォークやブレーキホースが損傷すると、走行中に制御不能になり、重大な傷害を負う可能性があります。

ST029 ステムカット計算機

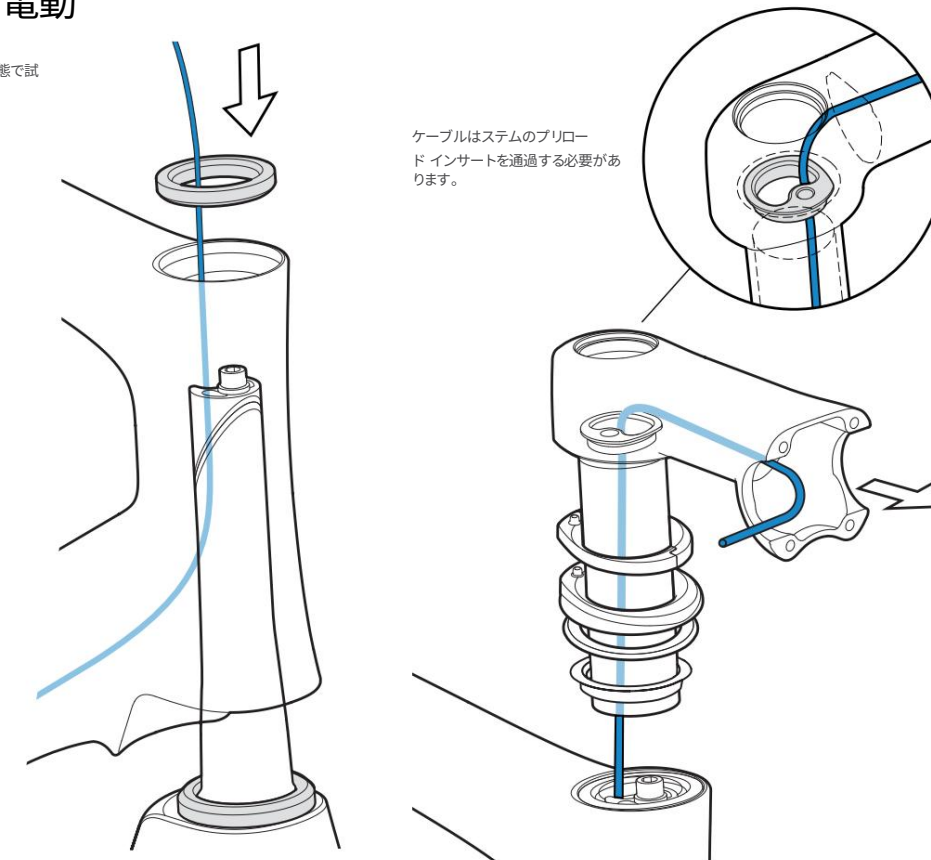
フレームサイズ*	48cm		51cm	
スペーサースタック (mm)	削除された長さ ステムステアーズ	結果として得られる最大スペーサースタック可能	削除された長さ ステムステアーズ	結果として得られる最大スペーサースタック可能
0mm (押し込んだ状態)	25mm	15mm	5mm	35mm
5mm	20mm	20mm	0mm	40mm
10mm	15mm	25mm	0mm	40mm
15mm	10mm	30mm	0mm	40mm
20mm	5mm	35mm	0mm	40mm
25mm	0mm	40mm	0mm	40mm
30mm	0mm	40mm	0mm	40mm
35mm	0mm	40mm	0mm	40mm
40mm (最大許容値)	0mm	40mm	0mm	40mm

*サイズ54cm以上のフレームにはステムステアラーの切断は必要ありません。

フォーク&ステムの取り付け - 電動

注意:完全な取り付けを行う前に、ホースや制御ケーブルを取り付けない状態で試しに組み立てて、ステアリング システムに慣れておくことをお勧めします。

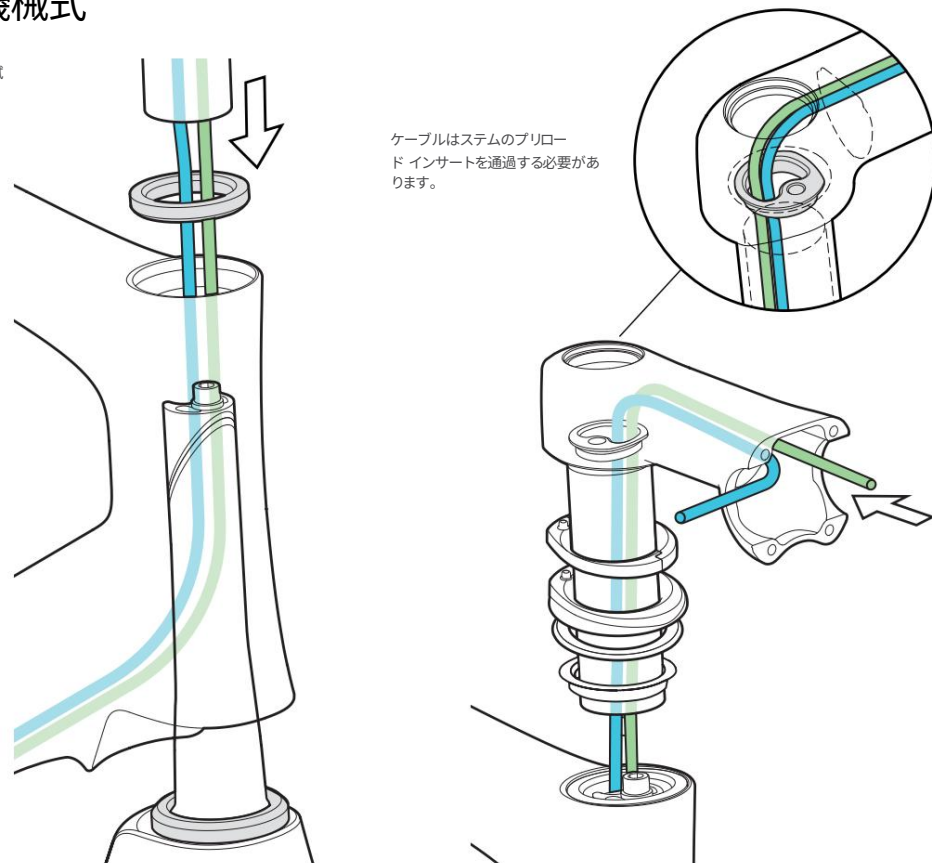
1. Eワイヤーをフレームに通して、ヘッドチューブの上部開口部と BB ケーブル開口部の両方に露出しています。
2. 軽くグリースを塗った上部ベアリングをフレームに取り付けます。
3. 軽くグリースを塗った下部ベアリングをフォークに取り付けます。
4. 必要なステムスペーサーを取り付け、ベアリングトップキャップ、シールリング、コンプレッションリングをステムに取り付けます。ステムの真下に2.5mmのステムスペーサーを配置しないでください。
- 5.カーボンアセンブリコンパウンドを塗布するフォークステアラーの外側とステムステアラーの内側に接触する部分です。
6. ステムを露出したEワイヤーに通し、フォークステアラーに取り付けます。コンプレッションリングがベアリングと確実に噛み合っていることを確認してください。Eワイヤーはステムの上部開口部から見えるはずですが。
7. シートフォークとステムに軽く圧力をかけます。プリロードネジを取り付けてシステムをロックします。ベアリングの遊びをなくすために締めます (20ページを参照)。
8. E ワイヤーをステムに通して、フェース プレートの開口部から出てくるようにします。



フォーク&ステムの取り付け - 機械式

注意:完全な取り付けを行う前に、ホースや制御ケーブルを取り付けない状態で試しに組み立てて、ステアリングシステムに慣れておくことをお勧めします。

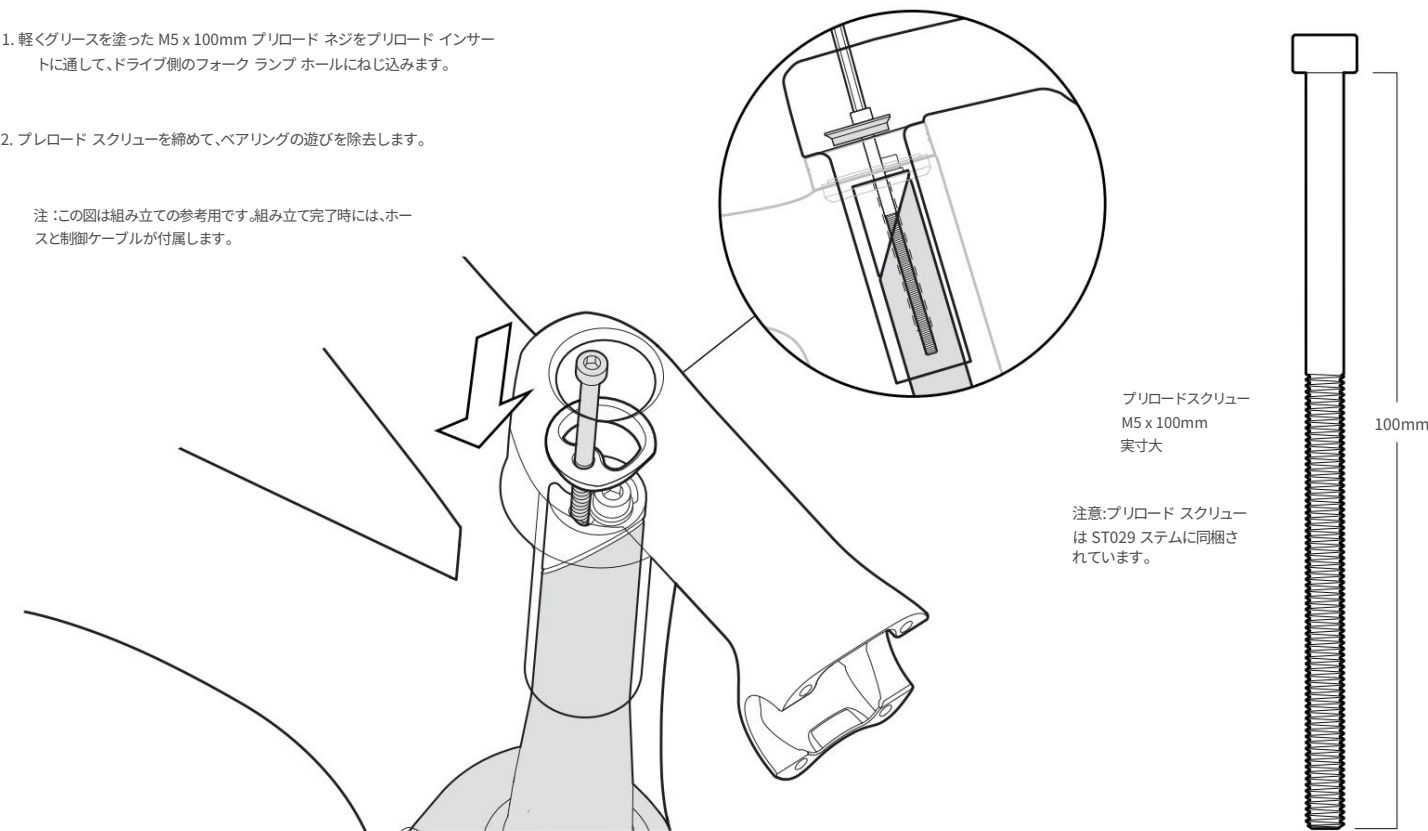
1. 軽くグリースを塗った上部ベアリングをフレームに取り付けます。
2. 軽くグリースを塗ったボトムベアリングをフォークに取り付けます。
3. ステムに、必要なステムスベアー、ベアリングトップキャップ、コンプレッションリング、シールリングを取り付けます。2.5mmのステムスベアーをステムの真下に取り付けしないでください。
4. 接触するフォーク ステアラーの外側とステム ステアラーの内側にカーボンアセンブリ コンパウンドを塗布します。
5. フォークをステムステアラーに取り付けます。
6. シートフォークとステムに軽く圧力をかけ、プリロードスクリューを取り付けてシステムをロックします。ベアリングの遊びをなくすために締め付けます (20ページ参照)。
7. 茎の口から始めて、フィードシフターハウジングを 1 本ずつステムに通して、シフターから BB ケーブルポートまで届くようにします。



ヘッドセットの調整

1. 軽くグリースを塗った M5 x 100mm プリロード ネジをプリロード インサートに通して、ドライブ側のフォーク ランプ ホールにねじ込みます。
2. プレロード スクリューを締めて、ベアリングの遊びを除去します。

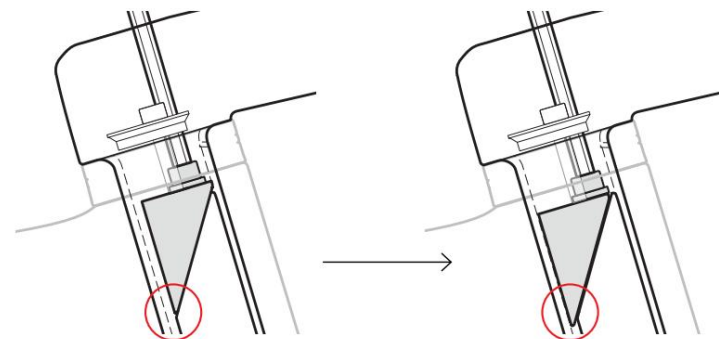
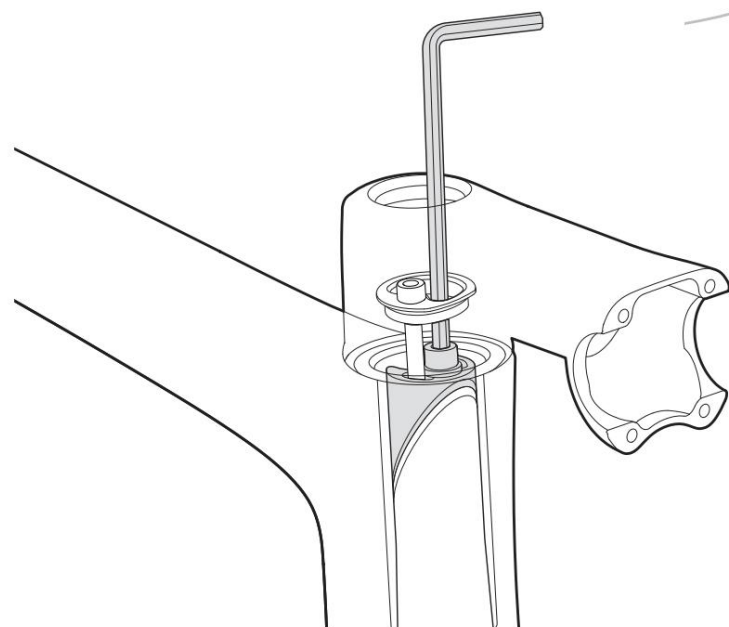
注:この図は組み立ての参考用です。組み立て完了時には、ホースと制御ケーブルが付属します。



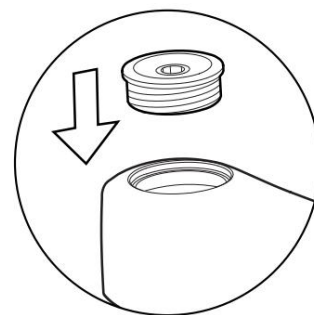
ステム締め付け

ステムを前輪に合わせ、フォークウェッジクランプを締めます。軽くグリースを塗ったフォークウェッジ固定ネジを12Nmで締めます。

注：この図は組み立ての参考用です。組み立て完了時には、ホースと制御ケーブルが付属します。



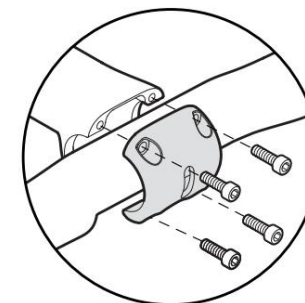
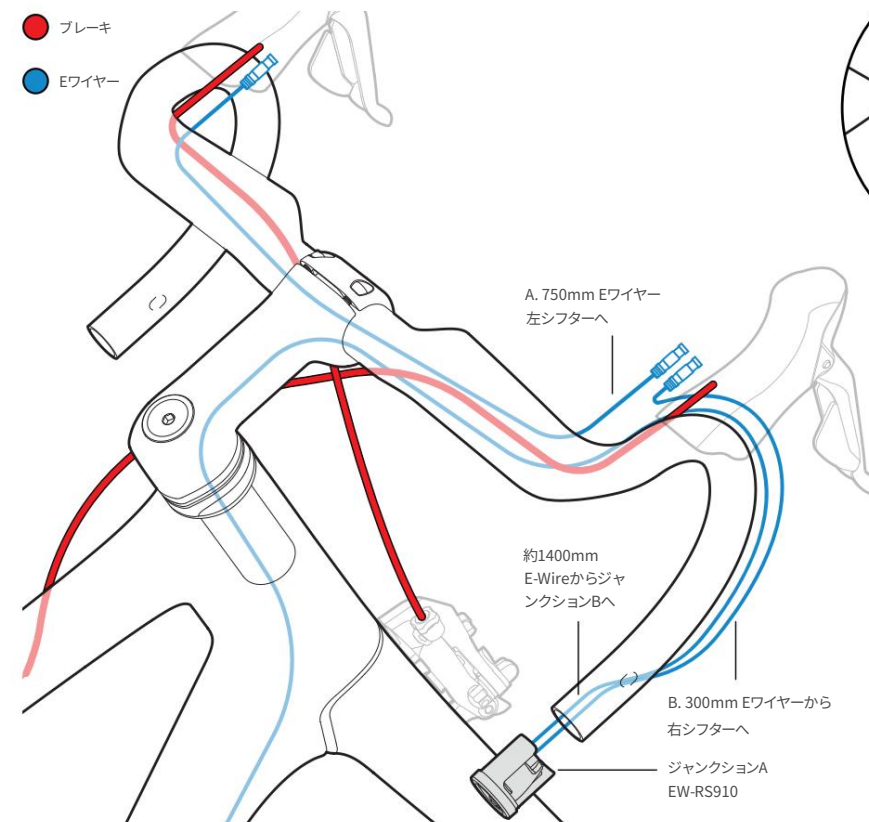
フォーク ウェッジ クランプが拡張してステム ステアラーに押し付けられ、フォークが固定されます。



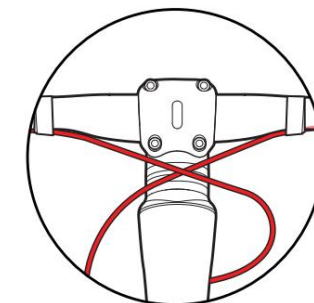
最後に、軽くグリースを塗ったステムトップキャップ (STC-A029)を取り付けます。1~2Nmで締め付けます。

ハンドルバーケーブルルーティング - 電動

● ブレーキ
● Eワイヤー



ステムフェースプレートのボルトを6Nmに締めます。



ブレーキハウジングは、ステムの前のハンドルバー。

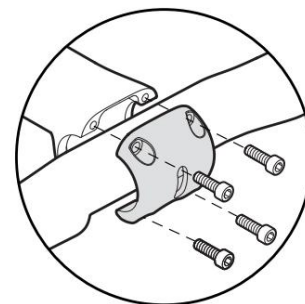
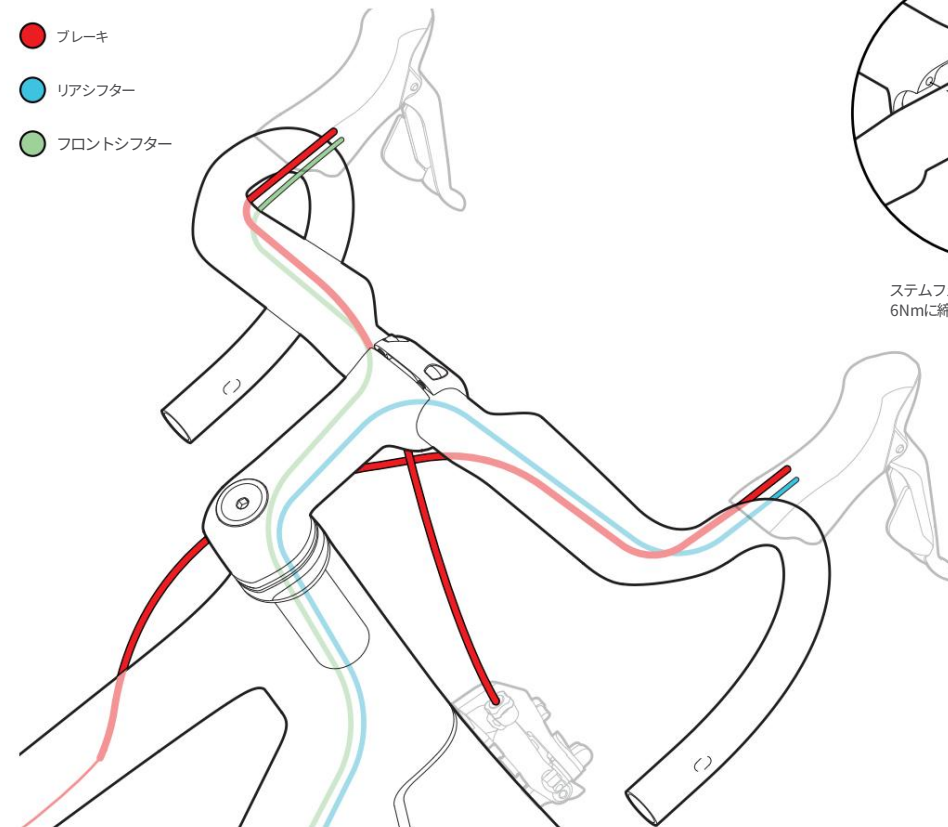
1. ハンドルバーにシフターを取り付け、左と右を接続します。右は750mm E-Wire Aを使用しています。
2. ジャンクションA (EW-RS910)を右シフターに接続する300mmのEワイヤーBを取り付けます。
3. 1400mmのE-Wire Cをフレームからステムに通し、ジャンクションAに接続します。
4. ブレーキ ハウジングと E ワイヤーをハンドルバーの適切なチャネルに配置します (ブレーキ ハウジングはステムの前にチャネルから出るように注意してください)。
5. 接触部にカーボンアセンプリコンパウンドを塗布するハンドルバーとステムのフェイスプレートの間の領域。
6. ハンドルバーをステムに取り付け、ブレーキとメーカーの指示に従ってコントロールを切り替えます。

ハンドルバーケーブルルーティング - メカニカル

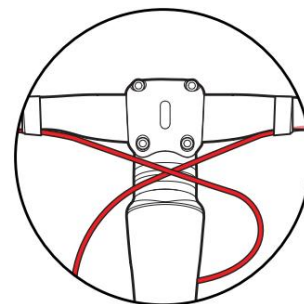
● ブレーキ

● リアシフター

● フロントシフター



ステムフェイスプレートのボルトを
6Nmに締めます。

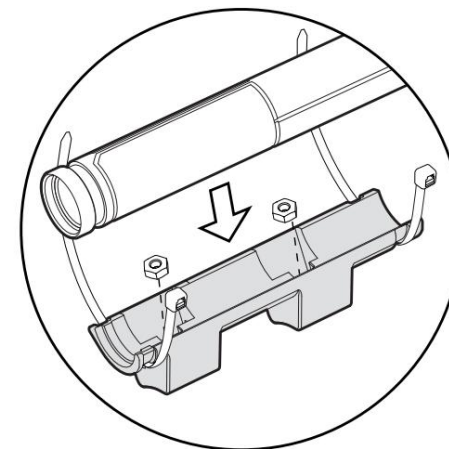


ブレーキハウジングは、
ステムの前のハンドルバーの下側。

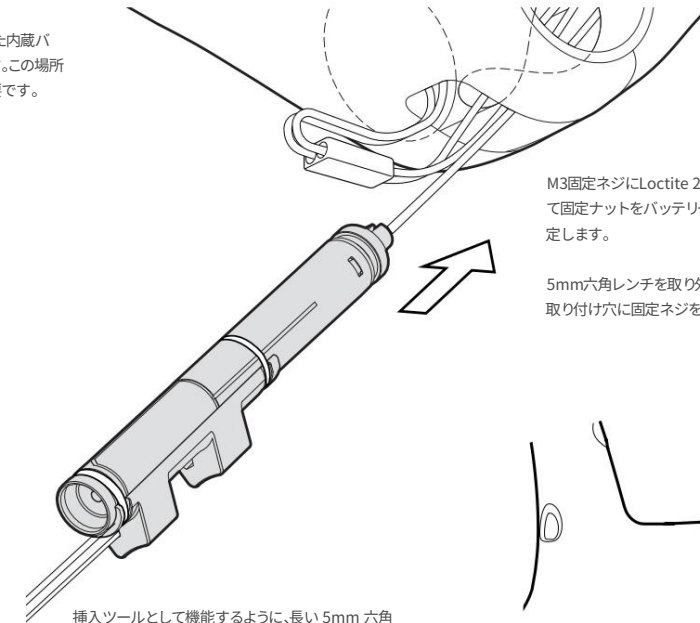
1. ハンドルバーにシフターを取り付けます。
2. ブレーキハウジングとEワイヤーを
ハンドルバーの適切なチャネル。(ブレーキハウジングはステム
の前にチャネルから出なければならないことに注意してくださ
い)。
3. カーボンアセンプリコンパウンドを塗布する
ハンドルバーとステムのフェイスプレート間の接触領域。
4. ハンドルバーをステムに取り付け、製造元の指示に従ってブレーキ
とシフトコントロールを取り付けます。

DI2バッテリーの取り付け

Shimano Di2システムのバッテリーは、このフレームに合わせて設計された内蔵バ
ッテリーマウント (MT-BINT) を使用してダウンチューブ内に取り付けます。この場所
は密閉されているため、最終取り付け前にシステムをテストすることが重要です。



2つのM3固定ナットを上部の穴に差し込み、ホル
ダーに差し込みます。結束バンド2本を使ってバッ
テリーをマウントに固定し、取り付けます。

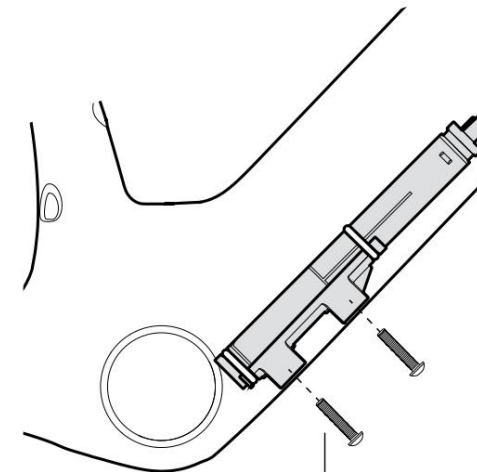


挿入ツールとして機能するように、長い 5mm 六角
キーをホルダーの下端に挿入します。

バッテリーとホルダー アセンブリをボトム ブラケット
シェルの開口部を通して、ダウン チューブ内で固定ナットが取
り付け穴の上にくるように配置します。

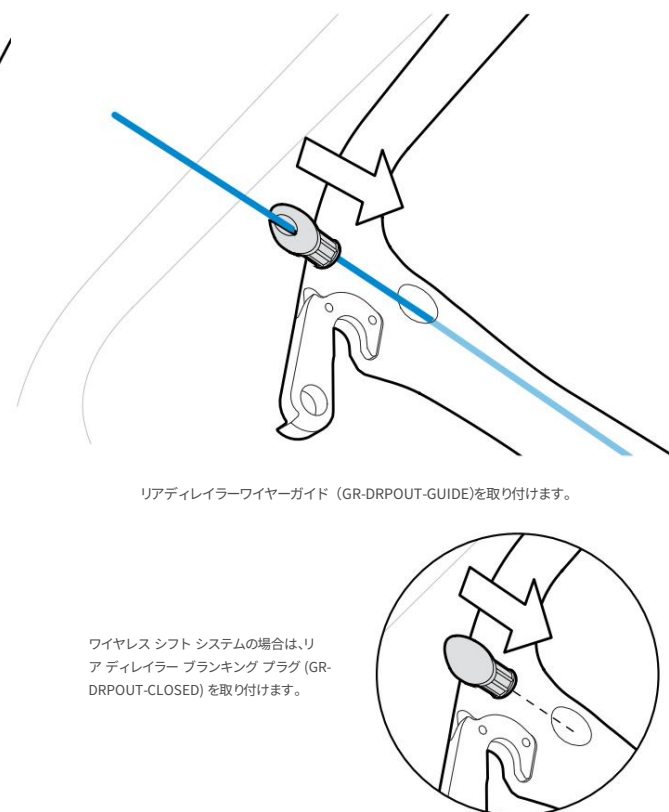
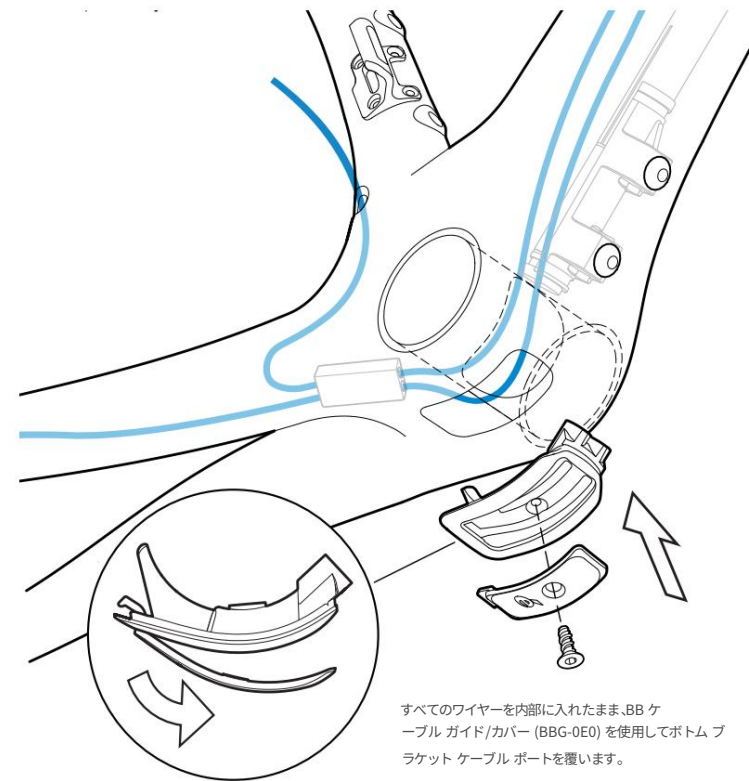
M3固定ネジにLoctite 242を塗布してください。取り付け穴に通し
て固定ナットをバッテリーホルダーに引っ掛け、軽く締めて固
定します。

5mm六角レンチを取り外します。2mm六角レンチを使用して、
取り付け穴に固定ネジを最大2.5Nmで締めます。

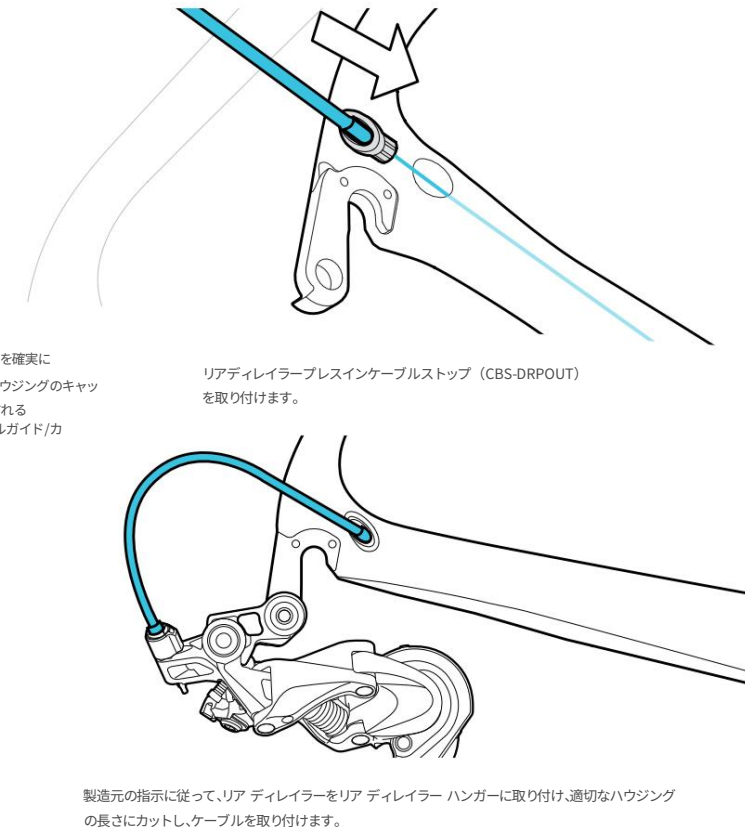
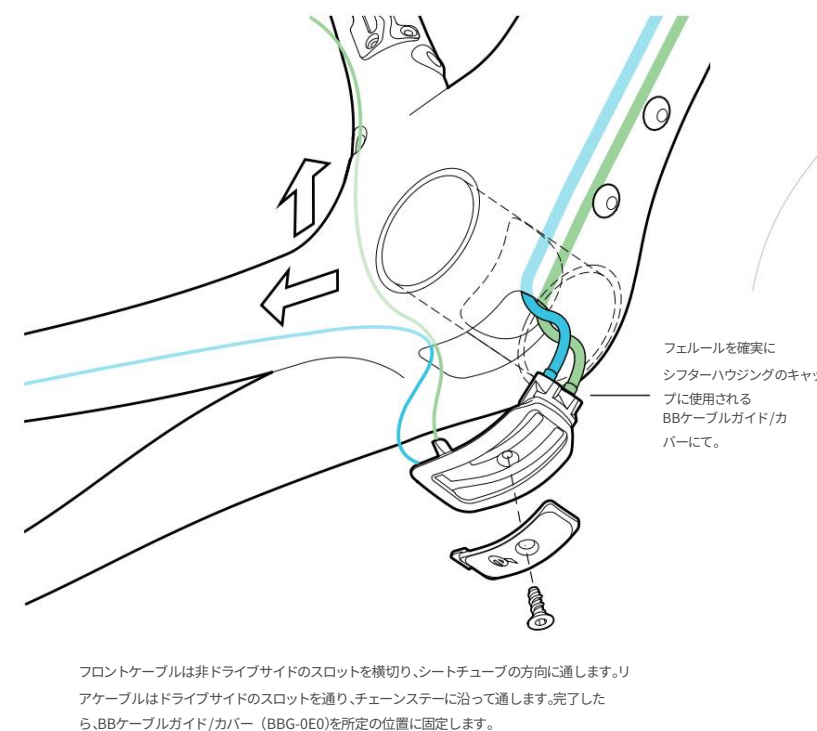


M3 x 16mmネジ

電気ケーブルの設置

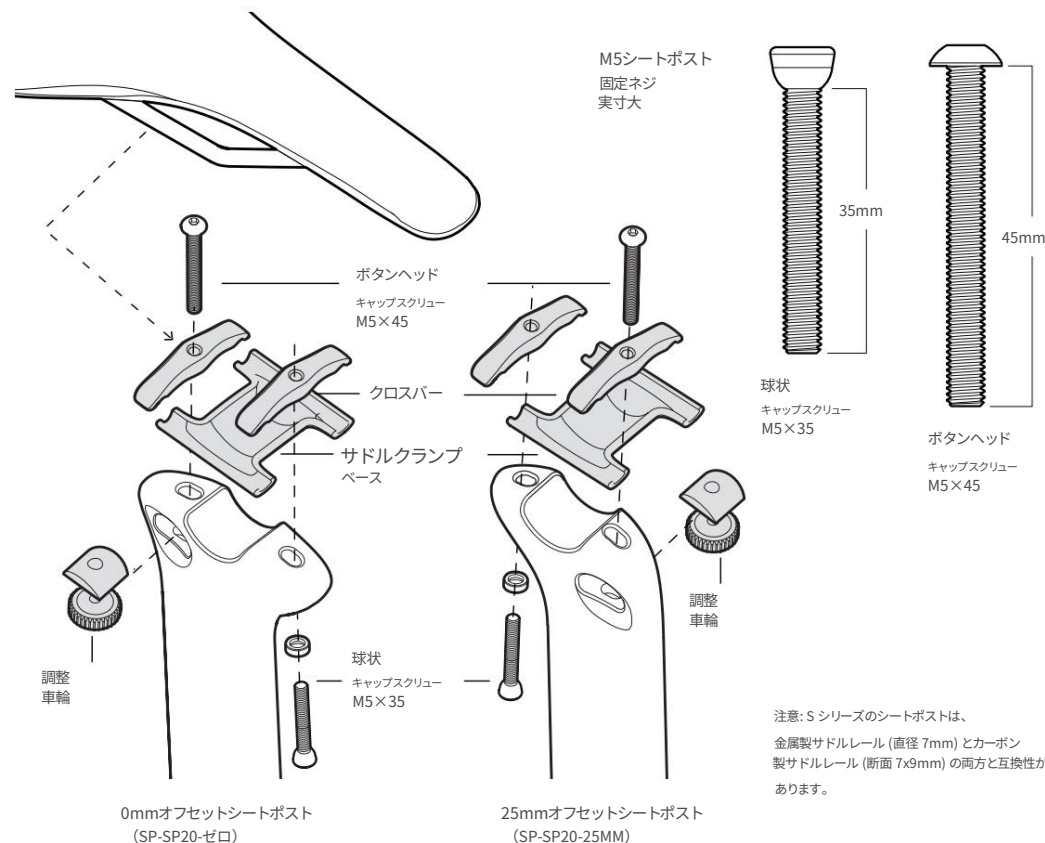


機械ケーブルの取り付け



シートポストアセンブリ

1. 45mmボタンヘッドキャップスクリューの頭の下ねじ山に Loctite 242を塗布します。45mmボタンヘッドキャップスクリューにクロスバーを取り付け、3Nmのトルクで締め付けます。
2. 固定ネジの両方に Loctite 242 が塗布されていることを確認します。
3. シートポストの切り欠きに湾曲したワッシャーと調整ダイヤルを取り付けます。
4. クロスバーを取り付けた状態でボタンヘッドキャップスクリューを取り付け、ねじ山が噛み合うまでダイヤルを回します。
5. 球面ワッシャーを 35mm の球面キャップ スクリューなので、凹面がスクリューの凸面と噛み合います。
6. クロスバーを取り付けます。
7. シートポストの上面の半径部分にカーボンアセンブリコンパウンドを薄く塗布します。
8. 図に従って、下部サドルクランプベースを取り付けます。
9. サドル レールを上部と下部のクランプ面の間に配置します。
10. 最初に調整ホイールを使用して、希望のサドル角度を確立します。
11. 反対側の角度調整ネジを締めてサドルを8~9Nmで固定します。



注意: S シリーズのシートポストは、金属製サドルレール (直径 7mm) とカーボン製サドルレール (断面 7x9mm) の両方と互換性があります。

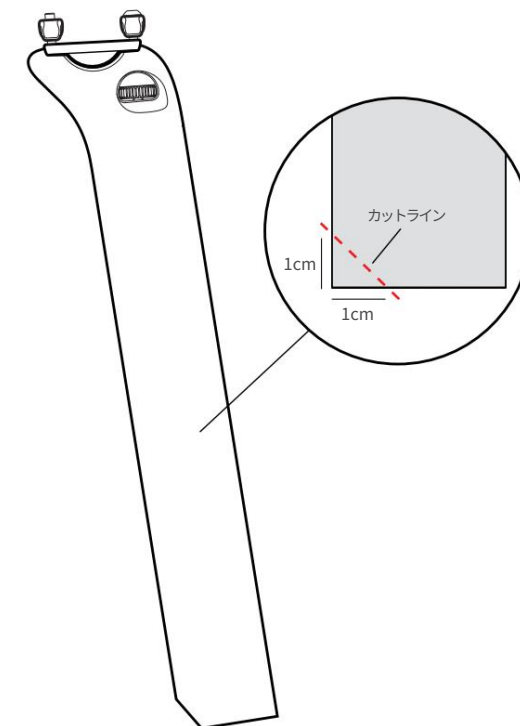
シートポストの切断手順

注: Cervélo Aeroシートポストはすべて、後端に45度の面取り加工が施されていることが必須です。取り付け後にトリミングが必要な場合は、以下の方法を推奨します。

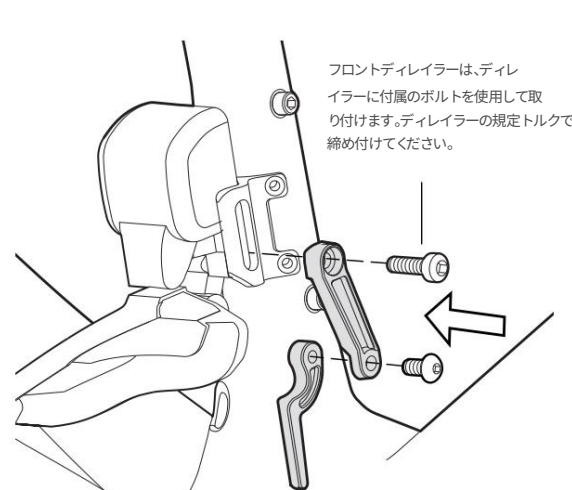
1. シートポストの挿入を最小 6.5cm、最大 8.5cm に維持するように注意しながら、慎重に測定し、薄い色のグリースペンシルを使用して、シートポストの切断位置を正確にマークします。
2. S シリーズ シートポストを Park Tool SG-7.2 ソー ガイド (または同等品) に挿入し、ツールのブレード ガイドを通してカットオフラインがはっきりと見えるようにします。
3. カーボン複合材の切断用に設計されたブレード (または 1 インチあたり 32 個以上の歯を持つ細かい歯のブレード) を使用して、シートポストの切断に進みます (Park Tool の指示に従ってください)。
4. 細かい目のサンドペーパーを使用して、切り口のほつれやバリを慎重に取り除きます。切り口から約10cm離れたところにクランプを置きます。
5. グリースペンシルを使って、シートポストの後端に切断面から1cmの点を、そしてシートポストの後方から1cmの点を下端に印を付けます。この2点を結んで45度のガイドラインとなる線を引きます。
6. のこぎりの刃をグリースペンシルの印に慎重に当てます。カットを続行すると、シートポストの後端に 45 度の面取りがカットされます。
7. 端を丁寧に研磨し、カーボンアセンブリコンパウンドを塗布した後、フレームに戻します。

⚠ WARNING

トリミングが必要な場合は、最終的な長さはフレームにシートポストが最低6.5cm残るようにしてください。この要件を満たさない場合、保証の対象外となるフレームの損傷、またはライダーの重傷につながる可能性があります。

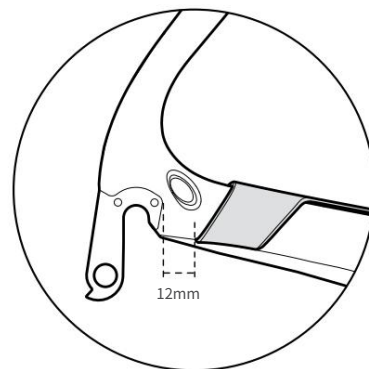
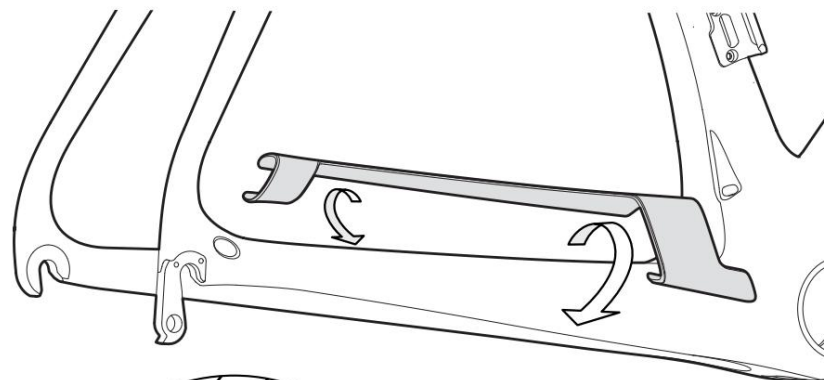


フレーム保護の取り付け



フロントディレイラーを取り付ける際にチェーンキャッチャーを取り付けます。チェーンを最小チェーンリング、最大カセットスプロケットにセットした状態で最終調整を行います。接続ボルトを4Nmで締め付けます。

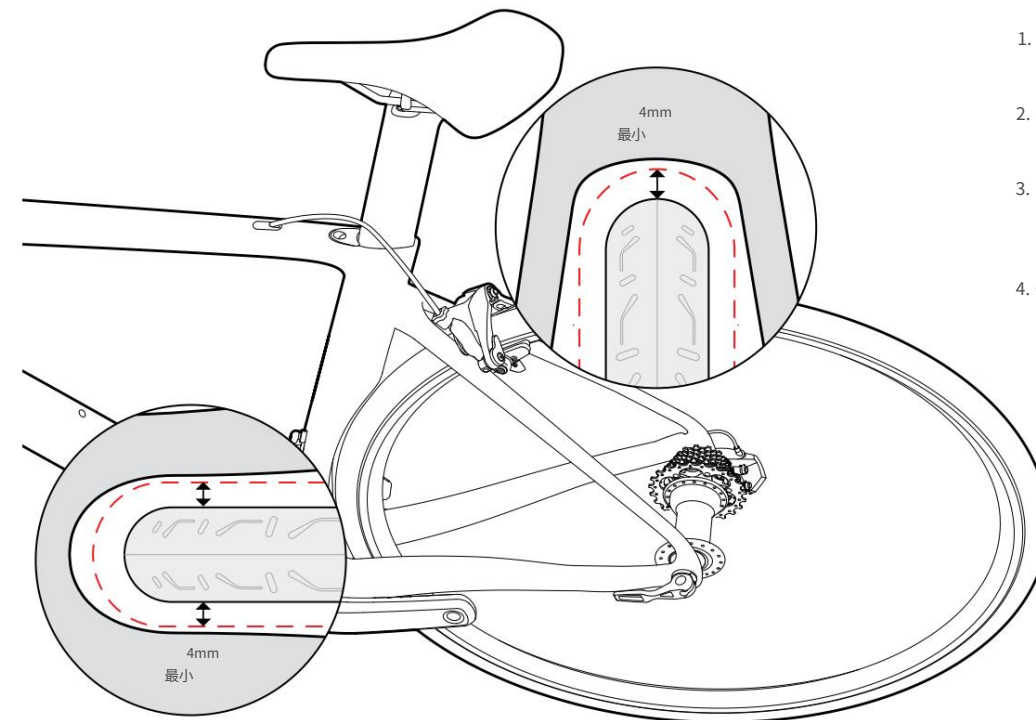
注意:チェーンがチェーンリング内に落ちた場合にフレームが損傷するのを防ぐため、チェーンキャッチャーを取り付けることをお勧めします。



イソプロピルアルコールを使用してチェーンステーを洗浄するアルコール。チェーンステーガードを取り付ける粘着剤の裏紙を剥がし、ガードをフレームに固定します。下端後端はリアディレイラーハンガーの前端から約12mmのところ。

タイヤクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. これら 2 つの数値のうち小さい方から 8 mm (片側 4 mm) を減算して、残りのスペースを決定します。
4. タイヤを取り付けて完全に空気を入れた状態でホイールに合うかどうかを確認するために、タイヤの幅を測定してください。

⚠ WARNING

タイヤとフレームまたはフォークが接触すると、走行中にコントロールを失い、深刻な怪我につながる可能性があります。これらのガイドラインに従わない場合、フレームに損傷が生じる可能性があり、Cervélo 限定生涯保証の対象外となります。

2019 S3 リテラー組立マニュアル

www.cervelo.com

CER-S3R-V3 2019-02-18

cervelo